

ワイヤレスHDMIアダプター(子機)

取扱説明書

本製品(子機)は「WHD-4KTR1」(別売)の親機とHDMI信号をワイヤレス(Wi-Fi)で送受信する製品です。親機にペアリングしてご利用ください。

レシートや納品書を大切に保管してください

レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。

MANU000634



内容物の確認

● 子機



● HDMIケーブル(HDMI-microHDMI)

● USBケーブル(C-A)

● USBケーブル(C-C)

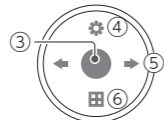
● 取扱説明書(本紙)

各部の名前と機能

▽側面



▽天面



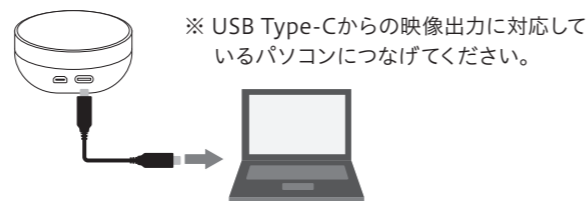
名称	概要
① Micro HDMIコネクタ	添付のHDMIケーブルをつなぎ、パソコンのHDMIポートとつなぎます。
② USB Type-Cコネクタ	添付のUSBケーブルをつなぎ、パソコンのUSBポートとつなぎます。
③ 画面共有ボタン	【1秒押し】画面共有する/しないを切り替えます。メニュー画面表示時は操作の決定をおこないます。 【6秒長押し】ペアリングを開始します。
ランプ	【緑点灯】画面共有中 【緑点滅】親機とペアリング中 【橙点灯】親機に接続しているが、画面共有していない状態 【赤点灯】起動中 【赤点滅】親機と接続中 【赤く周回点灯】親機に接続しているが、映像入力がされていない状態 【青点灯】VIPモードで使用時 【紫点灯】設定画面表示時
④ メニューボタン	メニュー画面を開きます。
⑤ 矢印ボタン	メニューを操作します。
⑥ 画面分割ボタン	1画面表示/4画面表示を切り替えます。

Step1 子機をパソコンにつなぐ

- 1 パソコンを起動する
- 2 ご利用の環境に併せて以下のいずれかの方法でつなぐ

USB Type-Cコネクタにつなぐ場合

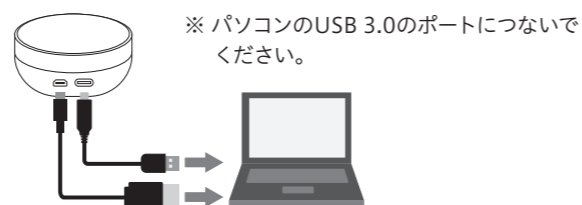
添付のUSBケーブル(C-C)を子機とパソコンに挿す



※ USB Type-Cからの映像出力に対応しているパソコンにつなげてください。

USB Standard Aコネクタにつなぐ場合

- ① 添付のUSBケーブル(C-A)を子機とパソコンに挿す
- ② 添付のHDMIケーブル(HDMI-microHDMI)を子機とパソコンに挿す



※ パソコンのUSB 3.0のポートにつないでください。

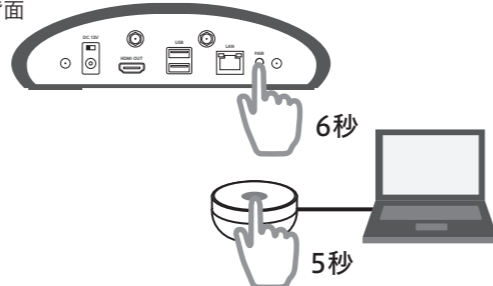
- 3 子機のランプが[赤点滅]に変わるまで待つ(約20秒)

Step2 親機とペアリングする

※ 他の子機の画面共有を解除した状態でペアリングをおこなってください。

- 1 ① 親機のPAIRボタンを6秒長押しする(PROJECTION/IDLEランプが緑点滅します)
② 子機の画面共有ボタンを5秒長押しする(ランプが緑点滅→赤点滅になります)

▽背面



※ 親機と子機の距離は10m以内で操作してください。

- 2 親機のPROJECTION/IDLEランプが[橙点灯]、子機のランプが[橙点灯]に変わるまで待つ(約20秒)
- 3 親機の画面に「Pairing Success…」と表示されたらペアリング完了です

Step3 画面を共有する

- 1 子機の画面共有ボタンを押す(ランプが緑点灯になります)
- 2 ディスプレイにパソコンの画面が共有(表示)されたことを確認(マルチディスプレイ状態)

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

- 禁止
- 指示を守る

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

- 雷が鳴り出したら本製品やコードに触れない
感電の原因になります。

- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 - 水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に乗らないでください。
 - 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

- 本製品の周辺に放熱を妨げるようなものを置かない
発火の原因になります。

- 故障や異常のまま、つながらない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

- 本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

- 本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

- ベースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の近くで使用しない
ベースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の動作に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

注意

- 人が通行する場所に設置しない
けがの原因になります。

- 本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使用すると、製品本体が熱く感じる場合があります。

使用上のご注意

- 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
 - ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
 - 電子レンジやコードレス電話等の電化製品
 上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉が発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

- 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

- 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

- 省電力モード(スタンバイ、レジューム、ハイパネーション)には対応していません。

- 子機はパソコンのUSBポートに直接接続してください。USBハブ、増設のUSBポートには接続できません。

- お手入れ方法
本製品についてた汚れなどを落とす場合は、パソコンなどから取り外してから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
 - 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

- 本製品は、屋外で使用しないでください。法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。

- 5GHz帯で使用するチャネルは36,40,44,48ch(W52)です。34,38,42,46ch(J52)の装置との通信はできません。

動作環境・仕様

<https://www.iodata.jp/product/av/graphicsboard/whd-4ktr1/spec.htm#spectop>

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

